



短冊に書く願いとその意味



7月7日は「七夕」です。国立天文台では、二十四節気の処暑以前で、処暑に最も近い新月から数えて7日目を「伝統的七夕の日」としています。

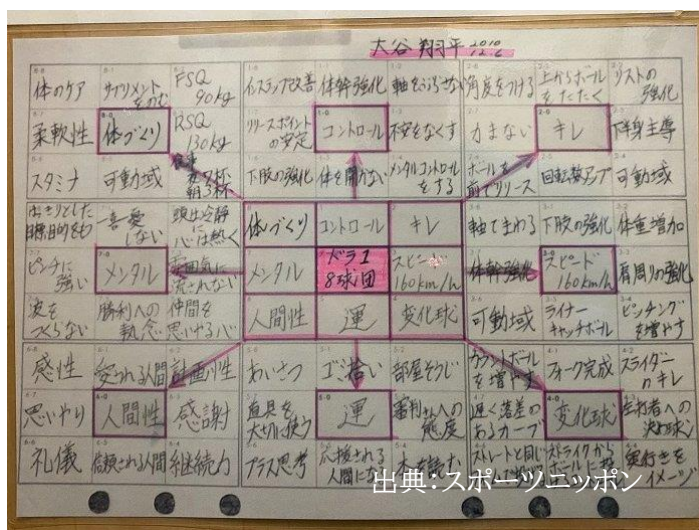
私たちは七夕飾りに願い事を書きますが、学校生活の中にも目標を書く場面が多くあります。例えば、始業式や長期休業前、行事の前などです。日々のめあてが、黒板に書かれている学級もあります。

願いをかなえるために目標を書くことは、達成するかどうかには関係ないように思えますが、目標を書いた人の方が成功する可能性が高いのだそうです。

メジャーリーグで活躍中の大谷翔平選手は「人生が夢を作るんじゃない。夢が人生をつくるんだ」と言い、夢を叶えています。右の写真は、大谷選手が高校1年生の時に書いたマンダラチャート（目標達成シート）です。運を良くするためには「あいさつ」「ゴミ拾い」「部屋そうじ」「審判さんへの態度」「道具を大切に使う」「本を読む」ことなどをあげています。

以前読んだ本に、オリンピックで金メダルをとるための秘訣が書かれていました。オリンピックで金メダルをとるには実力も大切ですが、心のもち方が大切になるのだそうです。勝者の心のもち方を簡単にいうと、①目標をはっきり決め、②それを紙に書き、③すぐに行動を始める、ことなのだそうです。

七夕の短冊は、このうちの①と②を具体化したものです。大谷選手の「目標達成シート」もまさにこれです。七夕の日に、願いを短冊に書くというのは、何か意味のあることのように思えてきます。



有意義な夏休みを

21日（火）に1学期の終業式を行い、いよいよ夏休みが始まります。1学期、保護者の皆様をはじめ、地域や関係各位の皆様には子供たちの健やかな成長を支えていただきました。皆様の温かいご支援とご協力に感謝しております。

夏休みを迎えるにあたっては、個別懇談や「あゆみ」を学校生活について振り返る機会とし、学習面や行動面の「良さを認め励ます材料」にしていきたいと思います。

夏休みは学習や生活を見つめ直し、新学期に向けて準備をする絶好の機会です。新学期には、子供たちの元気いっぱいの笑顔に会えることを楽しみにしています。

学校のように

行事や活動の様子を
写真で紹介します！



他の行事について
は、学校HP
をご覧ください

【大明チャレンジ】

7月2日に、児童会本部が中心となって企画した全校ゲーム集会「大明チャレンジ」を行いました。校内には、「あき缶積み」や「的当て」、「ボウリング」に「宝さがし」など、子供たちが工夫して準備したゲームコーナーが設けられ、縦割り班ごとに協力しながら挑戦しました。準備から当日の運営まで、6年生が中心となって全校をリードし、下級生を優しく支える姿が随所に見られました。学年を越えて笑顔があふれ、協力しながら活動することで、大明小学校の絆がより一層深まる時間となりました。



【地域ふれあい道徳授業参観】

6月26日に学校開放日として「地域ふれあい道徳授業参観」を実施しました。当日は、多くの保護者や地域の皆様にご来校いただき、子供たちの学ぶ様子をご覧いただきました。子供たちは、講師の方々との交流を通して、普段の授業では得られない貴重な学びや気づきを得ることができました。



【ようこそ先輩】

6月15日、本校卒業生でプロサッカー選手の今津佑太さんを講師にお迎えし、3・4年生にはサッカー教室を、6年生には総合的な学習の時間で講話をしていただきました。夢に向かって努力を続けることの大切さや、仲間を大切にすることなど、競技を通して培われた貴重なお話を聞くことができました。

母校の子供たちを温かく見守り、毎年のように応援してくださる今津選手との交流は、子供たちにとって大きな励みとなりました。

